FORZA駒澤 選手紹介 PART9

古川健介（４年・ＦＷ）

今回紹介するのは、「遅れてきた点取り屋」古川健介選手です。古川選手はすでに引退を迎えましたが、今季は４年生にしてリーグ戦初出場、初ゴールを決めるなど、本人も語るように「トータルで見れば満足のいく１年だった」ようです。小林久晃主将との感動的な秘話なども飛び出した今回のインタビュー。その知られざる思いに耳を傾けよう。

横浜Ｆジュニアユースではボランチ

サッカーは２コ上のお兄ちゃんがやってたんでごく自然に自分もはじめました。サッカー部は４年生にならないと入れなかったから４年生から入ったんだけど、サッカーは好きで１年からその辺でボールは蹴ってました。品川区の城南第２小学校なんですけど非常に弱かったですね。自分はキャプテンやってたチームの中では一つ抜けてたかなって感じはするけど、チームが弱かったから大会でも上のほうにいくことが出来なくて自分がどれくらい上手いのかが分からなかった。

中学は横浜フリューゲルス（98年に横浜マリノスと合併消滅）のジュニアユースです。品川区の中学はレベルが低かったんで、自分は上手いやつらと高いレベルでやりたいという気持ちがあったし、小学校のコーチの人がヴェルディのユース出身の人でその人の勧めもあって。ヴェルディのセレクションも受けたけどおちたので、合格したフリューゲルスに行きました。

フリューゲルスでのポジションはボランチでした。２年生からレギュラーになって、成績としてはその時の全日本ジュニアユース選手権で３位になったのが最高かな。練習は上手いやつがいっぱいいて、本当にレベルが高くて「やめようかな」というのは何度も思いました。監督も厳しい人できつかったし。

印象に残っている試合は３年の時のクラブの全国大会でベスト８になった時、準々決勝で優勝した岐阜パモスに負けた試合。だいたいこの大会ってマリノスとかジェフとかＪリーグの下部組織のチームが優勝してたから、「このチームどこ？」って感じで（笑）。俺らの一つ前に三上たちの三菱養和もここに負けたんですけど。

三上とは何度かやったことがあって、やっぱ覚えてますね。うまかったから。かなりサイドで突破されてた。あとは稲本（潤一・ガンバ大阪→アーセナル）も印象に残ってます。体はそんな大きくなくて、テクニシャンのパサーという感じでした。当時はまだ全国区じゃなかったけど、自分はポジション的にもちょうどぶつかる機会があったからうまいなと感じてて。そしたら３年くらいにはもうＪ１５の日本代表に選ばれてたんで「あーやっぱ上手いヤツだったんだ」と思いました。

ユースで一度サッカーをやめようと思った

高校もそのままユースにあがってポジションはフォワードに転向しました。１年のほんと初めから。自分の中でボランチに限界を感じ格的にも攻める方が好きだったんで。ユースでは１年からレギュラーでした。成績はあまりよくなかったですね。ワールドユースに出場した氏家英行（現大宮アルディージャ）とか面子的には結構良かったと思うけど。

トップチームには昇格できませんでした。ユースから３人くらいプロの練習に参加してて、俺も行ってたんですけどまあ「いらない」ということで。だからそこで一度サッカーをやめようと思ったんですよ。専修大とか日体大とか幾つか自分を欲しいといってくれる大学もあったけど、大学サッカー自体よく知らなかったし。でも明治大に行きたいなというのは少しありました。当時明治大は１部だったし、クラブチームと似たサッカーをしてたから。明治大の練習に参加することも決まってたんですけど相当悩んだ末、自分は駒大付属高校に行ってたし、駒大も強かったんで内部推薦であがってもう一回考えてやることにしました。当時の駒大は「桐蔭」というイメージがあったんで、行っても出れないんじゃないかというのはありましたけど。

テルが俺をメンバーに入れてくれた

今年のチームは面子的にも無冠で終わるようなチームじゃなかったんで、インカレを獲れたのは本当に良かったです。決勝が終わったあと秋田監督と握手した時は、監督やテルに対する感謝の気持ちとかいろんなものがこみ上げてきて涙が出ましたね。泣くなんて初めてのことだったんで自分でもびっくりしましたけど（笑）。

卒業後は企業（トステム）に入ってサッカーは続けますけど、この一年はいろんな面ですごく成長できたと思うのでこれからに生かしたほんと下の下から。俺らの代は一般もすごく多くて結構セレクションとかやらされましたよ。半分くらいそこで落とされましたね。

正直入ったはいいけど、全然やる気なくて１回練習サボって坊主になったり、大会の登録メンバー決める日に遅刻したりしてたから何も話すことないですよ（笑）。３年までずっとそんな感じです。

でもテル（小林久晃）がよく俺に「俺は絶対戦力になると思うから早く監督に認められてＡで一緒にやろうよ」みたいなことをいってくれてたんで。あと新チームの構想を決めるときに監督がテルと津村とかに入れたいメンバーを紙に書かせるんですけど、そこに俺を入れてくれて。監督は３年間の俺を見てるから入れたくないって言ってたんですけど、選手が言うならしょうがないからということでＡにあげてくれました。本当は就職活動しようとしてたんだけど「これはやるっきゃない」と思ってラスト１年サッカーやろうと思ってやりましたね。

ラスト一年はいろんな面ですごく成長できた

PROFILE

●ふるかわけんすけ／1979年5月26日生まれ。184㎝、74㎏。城南第２小―横浜フリューゲルスjrユース―横浜フリューゲルスユース。家族構成は父、母、兄。好きな選手はマラドーナ。好きな言葉は「信頼関係」

発行人	熊崎雅之
スタッフ	木ノ内隆 佐野晋作 岩田陽一 内田浩嗣 丹羽尊志 森田悠介 西村智子 山口諒子

FORZA 駒澤は毎週金曜日に大学内で配布中！

～お知らせ～

ＦＯＲＺＡ駒澤は来週金曜日配布の第20号で冬休みに入ります。内容はＪ４人組（小林久＆金→市原、三上→浦和、木村→川崎Ｆ）インタビュー。ただし配布はしないので食堂内のアイスクリーム売り場にある専用ＢＯＸからとっていってください。

高橋健次から見た古川健介

足が長いから懐が深いし、足元の技術も巻とかよりしっかりしてると思う。ただ巻の方がゴール前で戦えるから使われてるんだと思う。本人は嫌いらしいけどヘディングも強いですね。性格はおちゃらけ。でもよくわからない(笑)。

熊崎選手(岐阜工)、決勝で涙

第80回全国高校サッカー選手権

12月30日(日)から1月8日(水)まで行われた第80回全国高校サッカー選手権で、来年の駒大入学が内定しているＤＦ熊崎貴之選手の所属する岐阜工業高校が岐阜県勢として戦後初の準優勝の快挙。熊崎選手は、同じく来年度の駒大入学が内定している鹿児島実業高校のＦＷ赤嶺真吾選手とともに大会優秀選手にも選ばれた。

全国準優勝の熊崎選手(中央)。昨年は土屋選手(左)、片桐選手(右)とともに駒大の練習に参加したこともある